

北葛だより

みっちゃんの宅配便

今井光子の県議会だより

日本共産党奈良県会議員団

奈良市登大路町30奈良県議会内 Tel 0742 (27) 5291

今井 光子 広陵町馬見北3-4-25 Tel&Fax 0745 (55) 8725

メールアドレス: mituko38@amber.plala.or.jp



雇用のルールが守られ 働きやすい奈良県庁に



奈良県庁は、働いている職員数が一番多い奈良県最大の職場ですが、長時間勤務が蔓延しています。今井光子議員は、体調を壊し1ヶ月以上の長期休暇をとっている人が91人（2014年度）にものぼることを指摘。仕事のため午後9時になっても灯りが煌々とつく県庁舎の写真を示して【上写真】、時間外労働を減らす真剣な取り組みをと求めました。

*

今井 この間、県庁職員は減らされ続け、仕事の量が増えて、残業せざるをえない職場環境が生まれている。「連日のように日付が変わらないと家に帰ることができない」「精神的にも肉体的にも限界。助けてほしい」と訴える手紙も寄せられている。この日（写真、12月7日午後9時）だけでも4時間以上の残業をしていた職員は相当数いたはず。職員ひとり一人の働き方を見つめ直し、ワーク・ライフ・バランスのとれた働き方ができるよう取り組むべきだ。

荒井知事 その日は職員が議会の答弁資料作成で忙しい日。議員がもっと早く質問を出していただければ残業も減る。県庁では定時退庁日を設け、つきあい残業をすることがないよう”声かけ”を実施。所属長

への注意喚起を繰り返しおこなっている。県庁は働き方改革をやっている。ブラック企業ではない。

今井 所属長の残業命令がなくても、残って残業をしているのは残業だ。県は時間の管理をやる責任があるので、きちっとやってください。

*

知事は、職員の時間外勤務の責任を議員に転嫁する姿勢を示しました。労働時間管理の責任や土日の勤務実態について答弁で触れることはありませんでした。

注：12月県議会で、本会議質問をするすべての議員が、要請された期限内に質問通告をおこなっていたことが分かっています。今井議員が示した写真で電灯が消えている部屋は部長室や会議室。執務室のほとんどで仕事がおこなわれています。

今井質問に反響続々

「ブラック企業」、その通り。息子は深夜にならないと帰ってこないし、土日に行く。30歳になるが、これでは結婚できない。心配でならない…など、新しい告発や訴えが寄せられています。

一般質問

12月8日

今井 光子議員

過労死を生み出さないために

奈良労働局主催

過労死等防止対策推進シンポジウムに参加

自分の労働時間をしっかりつかんでいますか？

シンポジウムでは、遺族の方の発言を聞き、月45時間以上の残業は赤信号、そのためには自分の労働時間の管理が必要です。

「タイムカードを押してから残業は青天井」「総残業時間が決まっていた残業代が認められない」「名ばかり管理職で、わずかな手当で残業代を払わない」。

泣き寝入りはやめましょう！

222244

日本、ベトナム友好協会
奈良支部で、年明けにベトナムに行ってきました。ベトナムでは戦争が終わって40年▼小さなベトナムが大きなアメリカを相手に戦って勝利したことはすごいことです。今、ベトナムは経済の急成長で電力不足が心配されています。2010年に日本の政府はベトナムに原発を輸出することで合意▼ODAの支援で日本の企業が建設すると言います。ウミガメが産卵するところとして有名な海岸に、ロシアと日本で2基建設の予定。2020年完成をめざすとしています▼計画が決まった後の2011年の3・11東日本大震災と福島原発事故。「いま日本はどうなっているのか」、現地の交流会で大阪府立大学名誉教授の溝川悠介先生が講演をされ、真剣なまなざしで聞いていただきました▼交流会では「風よ故郷よ」（福島原発事故の避難者の思い）をうたってきました。強引な国内の原発再稼働。核のごみを捨てるところもありません。未来のために世界中から原発をストップさせる必要があります。

12月定例会 県議会報告

たいへんです！子どもの貧困 いっしょに考えましょう

今井光子議員は、子どもの貧困対策審議会に委員として参加しています。国の子どもの貧困対策大綱を受け、奈良県でも計画策定をと要望し、県は独自の実態調査を実施。そして4回の審議会での議論をふまえて、貧困対策の計画がつくられます。

今井議員は、この審議会で、貧困対策ということで、生活保護家庭、就学援助家庭、ひとり親家庭などしか使えないやり方中心の議論では、使いたい人も使えなくなってしまうということがないような対策も考えるべきと発言しました。

近く、パブリックコメントがおこなわれ

ます。ご意見ご要望をお寄せください。

〈少子化対策・女性の活躍委員会〉 第3子から保育料無料化を

同時に3人の子どもが保育所に入所している場合、第3子保育料は無料。しかし、うち一人が小学校にいくと無料だった子の保育料がかかってきます。

この同時入所要件の撤廃と、第2子の保育料の無償化を、と求めました。

これに対して県は、県内の4自治体が同時入所要件をなくしていることを明らかにしたうえで、奈良県として国に要望していると答えました。

大学学費の値上げは許せない 大学交付金の削減に反対する意見書を全会一致採択

財務省は、大学の運営交付金を15年間で1948億円削減する方針をうちだしました。

大学は、学費を値上げせざるをえなくな

ります。毎年2万5000円値上げ、15年後には93万円（現在は53万円）となってしまいます。

日本はGDPに占める教育費の割合が世界で最低レベル。共産党県議団が大学交付金の削減に反対する意見書を提案し、全会一致で採択されました。

マイナンバーの運用開始 安全は大丈夫なの？

マイナンバーの運用が始まっています。

今井光子議員は、マイナンバーが届いていない人が数多くいたり、個人情報漏洩などの事件が多発するなど、個人のプライバシーを侵害する危険が増大するなか、国民の支持や理解が広がらないのに制度運用を急ぐ必要はないとして、安全な運用について県の考えをとただしました。

これに対して知事は、「今どのようにするかアイデアはすぐさまは持ち合わせていない」としながらも「着実に取組をすすめたい」と答えました



奈良県が作成したまほろば愛サポーターのパンフレット

まほろば愛サポーターにないませんか

4月1日から、奈良県障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例がスタートします。

県議会では「まほろば愛サポーター」の講習会が開かれ、議員、職員が受講。様々な障害の特性を知って、的確にサポートすることで、みんなが住みやすい社会にしていく取組です。

様々な職場地域団体で、受講したいと希望があれば県から講師を送って気軽に受講できます。お気軽にお申し込みください。

電話 0742-27-8517

奈良県農業を守って！

TPP「大筋合意」で県農民連と懇談



TPP大筋合意の状況をうけて、奈良県農民連の皆さんが県議会各派に要請行動。共産党議員団控室では意見交換をおこないました。

願いのあるところ どこへでも 今井光子のフォトレポート

今井光子県議の活動を写真でレポートします。議会報告活動、災害をうけたところの視察、政府や県当局への要望活動など全県的に走り回っています。



子ども医療費助成制度拡充など県予算要望

子ども医療費助成制度の拡充や介護保険制度充実など県民の切実な要求296項目をまとめ、知事に予算要望書を提出し、懇談しました。



産業振興総合センターを視察

センターの役割がいっそう重要です。太田あつし議員といっしょに同センターを視察しました。

奈良県は中小企業が多く、モノづくりに際しても独自に検査機器を持つことは大変です。産業振興総合センター



ベトナム平和と交流の旅
1月6日から12日まで奈良県日本ベトナム友好協会が主催したベトナム平和と交流のツアーに参加。フエ市では原発事故で故郷を奪われた人々の気持ちをうたった「風よふるさとよ」を合唱（左写真）し、交流しました。